

表1 家庭科の消費生活と環境に関する他教科の学習内容と教科書の取り扱い例

(小学校)

教科	学習指導要領解説	目次大項目	目次小項目	キーワード
理科小6	B(3) 生物と環境	生物と地球環境	1 1-③地球環境を守る	地球温暖化 ゴミ処理 地球環境
社会小3、4	(3) ア飲料水、電気、ガスの確保や廃棄物の処理と自分たちの生活や産業とのかかわり	住みよいくらしをつくる	ひろげる	地球温だん化の原因 再生可能なエネルギー
			5-②ごみしよりと利用	ごみの分別 ごみのゆくえ リサイクルマーク リサイクルプラザ ごみをもやしたときに出る熱を利用した施設 3R ごみ処理がかかえる問題 ごみ処理の工夫 ごみを減らすために自分にできること

(中学校)

教科	学習指導要領解説	目次大項目	目次小項目	キーワード
技術・家庭 (家庭分野)		ガイダンス	持続可能な社会に向かって	平和 人権 経済 福祉 社会 公平・平等 公正 責任 自然 環境 多様性の尊重 多文化共生 文化 連携・協働 伝統文化 男女共同参画 ワーク・ライフ・バランス ジェンダー
		家族・家庭と子どもの成長	持続可能な社会をつくる 「世代を超えた人びとと交流して」	世代間の交流 ワーク・ライフ・バランス 自然や伝統文化との共存 飢餓や貧困
	B2(ウ) 食品の品質を見分け、用途に応じて選択できること。	食生活と自立	2 食品の選択と保存	食品が食卓にのぼるまで 海外の大規模農場 食品の輸入 有機栽培 遺伝子組み換え食品 原産地表示 消費期限と賞味期限 有機JASマーク エコバッグ 環境への配慮 必要な分だけ購入 早めに使い切る 加工食品をつくろう！ 残留農薬 食品から放射線物質が検出 農薬の使用状況 (図) 食品の安全・情報をめぐる最近のできごと
			3 調理をしよう	環境に配慮した調理(地元産の旬の食材 無駄なく使う 不必要な物は買わない エコバッグ 余分な包装 廃棄する部分 節水 火力の調節 省エネルギー 油や余分な洗剤 コンポスト たい肥化 排水の汚れを防ぐ)
	B3(ア) 基礎的な日常食の調理ができること。		持続可能な社会をつくる 「食生活と環境とのかかわり」	自然環境に負荷を与えない食生活 エコクッキング ガスの無駄 洗剤を使う量を少なく 食糧不足に困る人 食品が捨てられている 食糧生産と輸送 二酸化炭素の排出 フードマイレージ バーチャル・ウォーター フェアトレード 消費者と生産者の協力関係 日本の食品ロス 世界の食糧援助の2倍 食品ロスの半分は家庭から廃棄された食品 日本は世界で最大の食糧輸入国 食料自給率 日本食料事情と世界の食料事情 (図) 国産大豆使用と輸入大豆使用の豆腐の1丁あたりの輸送によるCO2排出量 (図) 各国のフードマイレージの比較 (図) 朝食を日本で生産された物だけでつくった場合 (図) 食料自給率の国際比較 (図) 品目別日本の食料自給率 (資料) 「世界がもし100人の村だったら③たべもの編」
C1(イ) 衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができること。	衣生活・住生活と自立	1 日常着の活用	既製服の選び方 原産国表示	

C1 (ウ) 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができること。			2 日常着の手入れ	洗剤の使い過ぎと水環境 衣服を長持ちさせる (図) 汚れの付着による綿肌着の性能変化 (図) 洗剤の量と汚れ落ち、再付着の関係
			持続可能な社会をつくる 「環境に配慮した衣生活」	ユニバーサルファッション リ・ファッション 日本の刺し子 国際的な視点から見た衣生活 フェアトレード エシカルファッション (図) 衣料品に占める輸入品の割合
			持続可能な社会をつくる 「これからの住生活と環境」	省エネルギーや周囲の生態系との調和 地球環境に負荷を与えない快適な衣生活 限りあるエネルギー 環境との共生 日本の伝統的な民家とゼロ・エネルギー環境共生住宅 (図) ゼロ・エネルギー住宅の一例
D2 (ア) 自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できること。	身近な消費生活と環境	環境に配慮した消費生活	よりよい消費生活のために	消費者市民社会 消費がもつ影響力の理解 消費者の参画・協働 持続可能な消費の実践 消費者の権利と責任 消費者としての自覚 自ら取り組むエコ生活 フェアトレード フェアトレード・タウン 価格の裏側 不当な労働行為や環境汚染 発展途上国 子どもたちが従事 貧困のない公正な社会 適正な価格
				環境に配慮した生活行動 リサイクル素材の文具 省エネ家電 地元産の作物 ごみの少ない簡易包装 配送サービスの利用 グリーン購入 ごみの減量 グリーン・コンシューマー 省エネで守る環境 排出される二酸化炭素 地球温暖化 温室効果ガス 生活排水 水質悪化 食用油のリサイクル 食べ残しや洗剤を減らすなどの工夫 水資源 水循環 循環型社会 循環型社会形成推進基本法 容器包装リサイクル法 3R 4R 5R 持続可能な社会 再生可能エネルギー 太陽光 太陽熱 バイオマス 生活スタイル 人権や平和などに配慮 環境悪化や資源枯渇 次世代の引き継げる社会 健康と環境に関心をもって生きる生活スタイル 多様な価値観 自らの生活のしかたを選択 もったいないは世界の合言葉 資源を有効活用 使いまわし 地球環境に負荷をかけないライフスタイル (図) せんだいグリーン文具 (図) 家庭で使用されるエネルギー (図) 河川に直接流れ込む生活排水 (図) 日本のごみの排出量の推移 (図) 水の使用量のめやす (表) 台所から出る汚れと水の関係 (資料) 不要のなったランドセルを贈るNPO (資料) 金属を再生・回収する企業 (資料) ヨコハマRひろば (資料) くるくる工房 (資料) 省エネルギーの工夫 (資料) 家庭でできるエネルギーの年間節約例 (資料) 菜の花プロジェクト (資料) 江戸時代の循環型社会

技術・家庭 (技術分野)		ガイダンス	3-②技術と環境	地球環境の破壊 エネルギー資源の枯渇 持続可能な社会の構築 再生可能なエネルギーの開発 (資料) 世界のエネルギー資源の採掘可能な年数 (図) 江戸時代に見る持続可能な社会 (図) 現代の持続可能な社会 リユース・リデュース・リサイクル
	A1 (イ) 技術の進展と環境との関係 2 (ウ) 材料と加工に関する技術の適切な評価と活用	A材料と環境に関する技術	2-③材料と環境とのかわり	リサイクル
			7-①社会・環境とのかわり	循環型社会 ハイブリット 3R 5R
			7-②材料と加工に関する技術とわたしたち	持続可能な社会
			まとめ	持続可能な社会を実現するために (資料) 日本のペットボトル回収率と状況比較 (資料) 日本のアルミ缶リサイクル率の推移
	B1 (ウ) エネルギー変換に関する技術の適切な評価・活用	Bエネルギー変換に関する技術	1-①エネルギーの利用	化石燃料 エネルギー資源
			1-②エネルギー資源	再生可能エネルギー
			1-④エネルギーの変換と効率	(資料) 発電別のCO2の排出量
			6-①社会環境とのかわり	エネルギー変換効率 再生可能なエネルギー 省エネルギー基準
			6-②エネルギー変換に関する技術とわたしたち製品のライフサイクル	
	C1 (イ) 生物育成に関する技術の適切な評価と活用 3 地域固有の生態系への影響	C生物育成に関する技術	1-①生物育成とは	持続可能な社会を築く観点
			1-②作物や家畜などの特性と生物育成に関する技術	農薬が多く残留するような使い方 (資料) 残留基準のある農薬数の推移
			7-①社会・環境とのかわり	バイオ燃料 持続可能な社会
			7-②生物育成の関する技術とわたしたち	化学肥料の大量投入 土壌環境の劣化
			まとめ	持続可能な社会を実現するために
	D1 (エ) 情報に関する技術の適切な評価と活用	D情報に関する技術	1-②情報に関する技術とその役割	(図) コンビニエンスストアの商品や情報の流れ
		進んで技術の評価し生活をよりよくする～技術分野の出口～	8-①社会・環境とのかわり	持続可能な社会 環境問題とパソコン
			1 技術を評価する視点	環境的側面 省エネルギー
			2 技術とわたしたちの未来	人や環境を考えたものづくり 消費者
			持続可能な社会を築く～循環型社会・環境～	循環型社会におけるものづくりのリサイクル 3つのRと5つのR 農業生産に関する物質生産 再生化のエネルギー 地産地消 環境保全
社会 (公民)	1 (ア) 私たちが生きる現代社会と文化 (イ) 現代社会をとらえる見方や考え方	現代社会と私たちの生活		
		1 スーパーマーケットから現代社会を見てみよう		
		1-①グローバル化	(資料) 天ぷらそばの材料の生産国 (資料) 日本の食料自給率の推移	
		1-②情報化	インターネットショッピング	
		1-③少子高齢化	(図) 国民の年金負担	
		1-④持続可能な社会に向けて	地球温暖化 再生可能エネルギー 一人一人の積極的な社会参画	

理科3年	7 (ア) 自然界のつり合い (イ) 自然環境の調査と環境保全	大切なエネルギー資源	3-①わたしたちの暮らしとエネルギー	(資料) 日本人一人あたりの平均エネルギー消費率 (資料) 家庭で使われるエネルギーの種類
			3-②電気エネルギーのつくり方	エネルギー自給率
			3-Ⅲエネルギー利用の課題	(資料) エネルギー資源の確認可採年数 地球温暖化 温室効果ガス 再生可能エネルギー
			終章 これからの暮らしを考えよう	持続可能な社会 エネルギーや資源の使い過ぎ
			終章 持続可能な社会にする方法を調べてみよう	テーマの例: 世界の異常気象に例とその原因、農作物の品種改良と環境保全との関係、将来の食料、リサイクル施設、化石燃料と再生可能エネルギー、科学技術の利用の見直し
保健体育	2 (ウ) 生活に伴う廃棄物の衛生管理	健康と環境	2-⑤生活排水の処理	生活雑排水 生活排水 環境や健康に悪影響 水の汚染を防ぐための工夫や方策
			2-⑥ごみの処理	ごみの発生の抑制や再利用 リサイクル 循環型社会 3R (図) 循環型社会の姿 (資料) 容器包装ごみの割合 (資料) ごみの量
			2-⑦環境汚染と保全	環境汚染への対策と近年の環境問題 地球温暖化と予想される生活への影響 持続可能な社会 循環型社会 低炭素社会 自然共生社会 (資料) 汚染物質と身体への影響
私たちと道徳	4- (10) 世界の中の日本人としての自覚をもち、国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献する。	(10) 日本人の自覚をもち世界に貢献する		地球規模で物やサービスが生産、消費され・・・ 持続可能な発展のためには、・・・ 世界の平和と人類の幸福の実現に向けて・・・
			世界とのかかわり	どの国も、他の国や地域とかわりをもたず存在することはできない
			世界に貢献できること	貧困 環境問題
学級活動	(2) ウ社会の一員としての責任と自覚			

地理歴史科

科目名	学習指導要領解説	目次大項目	目次小項目	キーワード
地理A	(1)現代世界の特色と諸課題の地理的考察 ウ 地球的課題の地理的考察	地球的課題と私たち	複雑にからみ合う地球的課題	持続可能な開発 大量消費
			世界の環境問題	地球温暖化 持続可能な開発 環境に配慮した行動
			世界の資源・エネルギー問題	地球規模 省エネルギー リサイクル
			世界の食料問題	フェアトレード 大量の食料の廃棄 地産地消
地理B	(2)現代世界の系統地理的考察 ア 自然環境	自然環境	環境問題	地球温暖化 砂漠化 リサイクル 日本は資源や食料を多くの国に依存
			(2)現代世界の系統地理的考察 イ 資源、産業	資源と産業
	世界史A	(3)地球社会と日本 エ 地球社会への歩みと課題	グローバル化する世界	グローバル化の進展
世界史B	(5)地球世界の到来 エ グローバル化した世界と日本	現在の世界	現代文明の諸相	環境保護と生活スタイルの変容 地球温暖化 食糧問題 資源問題 環境保護 エコロジー 消費者運動 ワーク・ライフ・バランス

公民科

科目名	学習指導要領解説	目次大項目	目次小項目	キーワード
現代社会	(1)私たちの生きる社会	私たちの生きる社会	地球環境問題	地球温暖化 持続可能な開発
			資源・エネルギー問題	エネルギー資源 3R 循環型社会
倫理	(1)現代と倫理 イ 現代の諸課題と倫理	環境の問題と倫理課題 情報社会と倫理課題	有限な地球環境	地球温暖化 3R 循環型社会 持続可能な社会
			情報の洪水と情報リテラシー	消費社会 情報リテラシー 批判的思考力
政治・経済	(2)現代の経済 ア 現代社会の仕組みと特質	現代経済のしくみと特質	環境保全と資源・エネルギー問題	環境基本法 グリーン・コンシューマーリサイクル 省エネルギー 地球温暖化持続可能な開発
			(3)現代社会の諸課題 イ 国際社会の政治や経済の諸問題	国際社会の政治や経済の諸課題

保健体育科

科目名	学習指導要領解説	目次大項目	目次小項目	キーワード
保健体育	(3)社会生活と健康 ア 環境と健康 (ア)環境の汚染と健康	社会生活と健康	大気汚染と健康	地球温暖化 地球規模の環境問題
			水質汚濁、土壌汚染と健康	産業排水 生活排水 ごみ処理施設から排出された物質
			環境汚染を防ぐ取り組み	私たちが加害者でもあり被害者でもある 環境にやさしいライフスタイル
			ごみの処理と上下水道の整備	循環型社会 環境負荷 (図) 循環型社会のすがた

情報科

科目名	学習指導要領解説	目次大項目	目次小項目	キーワード
社会と情報	(1)情報の活用と表現 ア 情報とメディアの特徴	情報社会	社会の変化と個人の責任	インターネットの持つ光と影 メディア・リテラシー インターネットを通じた売買での個人の責任

理科

科目名	学習指導要領解説	目次大項目	目次小項目	キーワード
科学と人間生活	(2)人間生活の中の科学 イ 物質の科学 (ア) 材料とその再利用	材料とその再利用	資源の再利用	循環型社会 3R 環境負荷 リサイクル 持続可能 資源と地球の未来 (図) ガラス瓶の循環
	(2)人間生活の中の科学 イ 物質の科学 (イ)衣料と食品	衣料と食品	服も食も科学とともに	環境負荷 エネルギー消費 大量消費
	(2)人間生活の中の科学 ア 光や熱の科学 (イ)熱の性質とその利用	熱の性質とその利用	熱と人間生活	エネルギーの有効利用 持続可能な社会の実現
物理基礎	(2)様々な物理現象とエネルギーの 利用 エ エネルギーとその利用 (ア)エネルギーとその利用	エネルギーとその利用	さまざまなエネルギー	エネルギーの消費者
			エネルギーの利用	火力発電と環境問題 持続可能性
化学基礎	(1)化学と人間生活 ア 化学と人間生活とのかかわり (イ)化学とその役割	化学と人間生活	化学とその役割	廃棄 再利用 3R 物質の適切な使用量 洗剤と濃度
生物基礎	(3)生物の多様性と生態系 イ 生態系とその保全 (ア)生態系と物質循環	生物の多様性と生態系	生態系での物質の循環	人間の活動と炭素の循環
	(3)生物の多様性と生態系 イ 生態系とその保全 (イ)生態系のバランスと保全		生態系のバランスと保全	人間の活動による生態系のバランスの乱れ 人間がより便利で物質的に豊かな生活を求めれば、エネルギー消費の増 加速度も上回る
地学基礎	(1) 変動する地球 エ 地球の環境 (ア)地球環境の科学	地球の環境	環境と人間	地球温暖化 大量消費

特別活動

科目名	解説の番号
目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、人間としての在り方生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う。
ホームルーム活動	(2)適応と成長及び健康安全 ウ 社会生活における役割の自覚と自己責任
生徒会活動	(1)生徒会の計画や運営 イ 環境の保全や美化のための活動